

連続3回講座

第1回

5月25日(土)14:00~17:00

講師:河野智聖

(自由人ネットワーク主催・朝日カルチャー講師)

第2回

6月1日(土)14:00~17:00

講師:廣木道心

(護道・介助法創始者、介護福祉士)

第3回

6月15日(土)14:00~17:00

講師:栗本啓司

(からだ指導室あんじん代表)

コーディネーター

小室弘毅



(関西大学人間健康学部准教授)

武術とケア

関西大学
堺キャンパス
多目的室B

申込締切
5月10日(金)

対象

対人援助職等、ケアに関心を持つ方
(定員25名) ※応募多数の場合は、抽選となります。

参加費

2,000円(全3回)
※初回参加時にご持参下さい。

裏面の申込フォームの通り、はがき・FAX・E-mailにて、お申し込みください。

～武術とケア 講座紹介～

近年、介護やケアの実践にあたって、古武術の身体技法を応用することで、介護者が楽に介護ができるようになるといった技術が注目されています。いわゆるスポーツとしての武道や精神論としての武道ではなく、実践としての武術における身体の運用技術です。一見、全く相反するように見える武術とケア。

本講座では武術や整体といった日本独自の身体技法を、ケアという観点から取り出し、その応用可能性を探っていきます。ここでの身体技法とは、単に身体の運用法に限るものではなく、心をも含むものです。こころとからだを一体のものとしてとらえるアプローチが日本の身体技法の特徴です。

具体的には、次の3名の身心の技法の「達人」たちを講師としてお招きして、それぞれの背景とする日本の身体（身心）技法から開発されたメソッドを、体験的に学んでいきます。まずは、武術と整体という全く異なる身体の技法を融合させ、動体学、快気法等様々なメソッドを開発されている**河野智聖先生**。次に、「自分も傷つかず相手傷つけないこと」を目的とした武術である「護道」や、介護・介助におけるパニック時の誘導スキルである「支援介助法」を開発された**廣木道心先生**。最後に、自閉症や発達障害を抱えている方に対して、個々の身体感覚を大切にするアプローチから取り組まれている**栗本啓司先生**。連続3回の講座を通して、こころとからだのつながりと、具体的なケアの現場で役に立つ身体（身心）の技法を学んでいきます。

実施にあたって

- ・連続講座のため、全日程の参加を原則とさせていただきます。
- ・受講された感想など、講座での体験についてインタビューなどへのご協力をお願いする場合があります。

▼「武術とケア」FAX申込フォーム ▼

はがき・FAX・E-mail にて、お申し込みください。

ご住所	〒 —		
お名前	ふりがな ご年齢(歳)	電話番号	— —